

複式学級のつながり（令和3年4月）

1年生を迎えた4月。学校中に再び、明るくやわらかな春の風が流れはじめました。

複式低学年の教室では、1年生が朝の支度について学んでいます。自分の机という狭いスペースで上手に着替えられるよう、ランドセルを置く位置や効率的な着替えの手順を、2年生が1年生に教えています。

その横にいるのは、複式中学年のお兄さんお姉さん。このように、今年のペアだけでなく、去年のペア、一昨年ペアが自主的に集まってきて、みんなであたたかく1年生を見守っているのです。担任がいない朝の時間帯の子どもたちの自然な姿を知り、複式学級がしっかりとした縦の糸でつながっていることを感じました。



複式高学年が主催して、1年生をお迎えする会が開かれました。美しい音色でリコーダーを演奏したり、習字で大きく書いた漢字一文字に込めた思いを発表したりして、複式高学年らしい安心感いっぱいの落ち着いた迎



え方をしてくれました。複式中学年はパワーポイントで複式学級の説明を分かりやすく発表し、複式低学年はペンダントの贈呈を行いました。

お迎え会の数日後は、1年生と6年生がペアになり、校庭で思い切り遊びました。安全に気を配りながら、1年生がジャングルジムに挑戦できるよう見守る6年生の姿を、あおぞらが優しく包んでくられていました。

